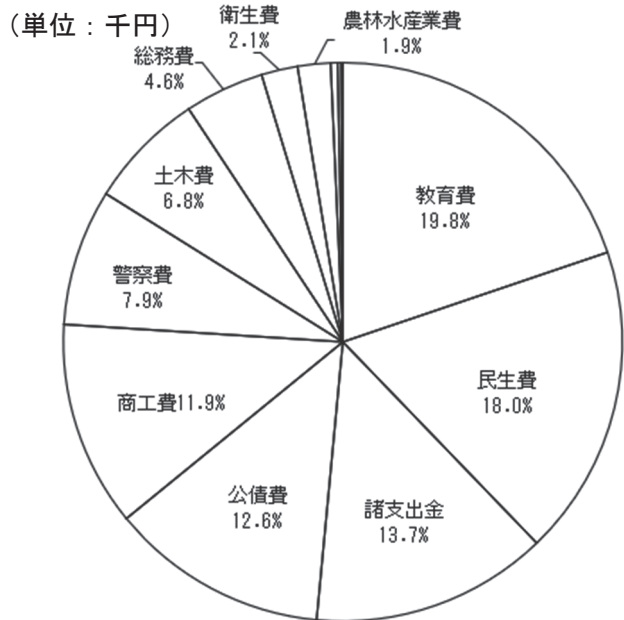


IV 予算

1 令和8年度6月補正後予算額（一般会計）

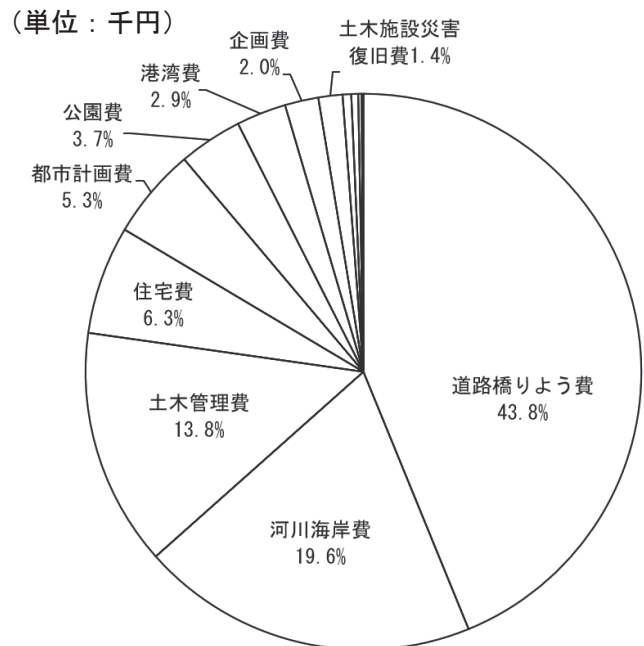
● 令和8年度6月補正後予算額内訳（一般会計）

款	予 算 額	構成比
議 会 費	1,995,627	0.2%
総 務 費	49,499,812	4.6%
民 生 費	193,698,444	18.0%
衛 生 費	22,140,177	2.1%
労 働 費	4,539,361	0.4%
農 林 水 産 業 費	20,162,889	1.9%
商 工 費	127,628,152	11.9%
土 木 費	72,989,262	6.8%
警 察 費	85,120,654	7.9%
教 育 費	213,181,722	19.8%
災 害 復 旧 費	1,223,959	0.1%
公 債 費	135,528,048	12.6%
諸 支 出 金	147,501,393	13.7%
予 備 費	300,000	0.0%
歳 出 計	1,075,509,500	100.0%



● 令和8年度6月補正後建設交通部予算額内訳（一般会計）

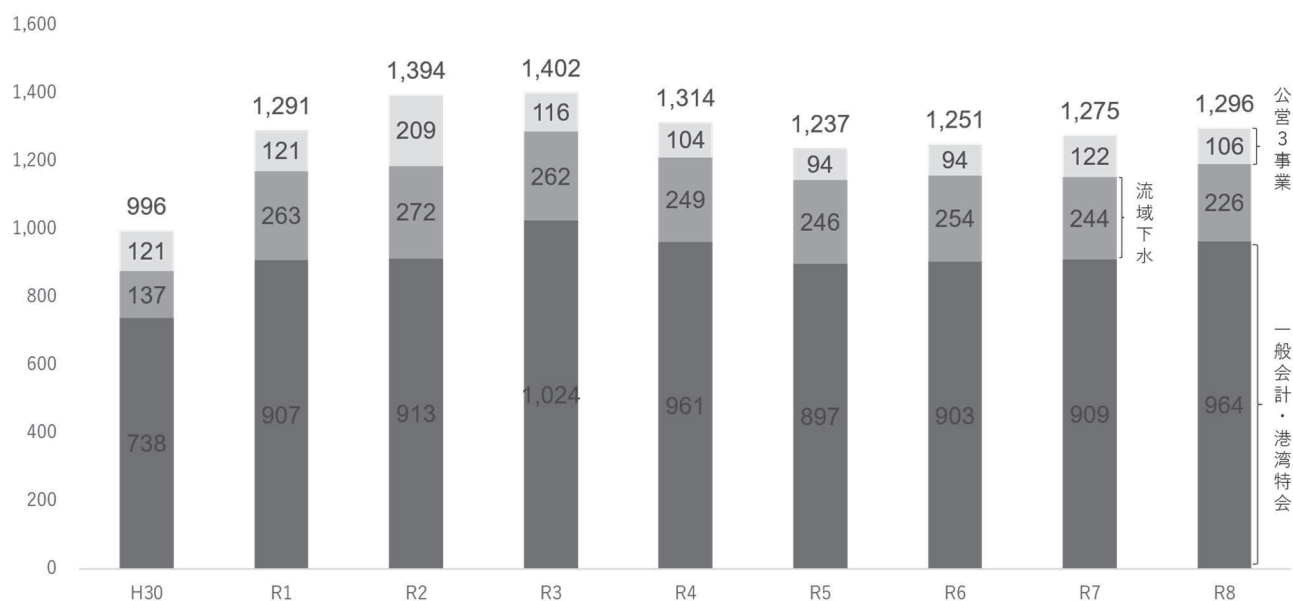
科目（項）	予 算 額	構成比
企 画 費	1,472,888	2.0%
環 境 衛 生 費	177,287	0.2%
環 境 対 策 費	47,713	0.1%
農 地 費	377,329	0.5%
土 木 管 理 費	10,399,614	13.8%
道 路 橋 り よ う 費	33,099,826	43.8%
河 川 海 岸 費	14,818,450	19.6%
港 湾 費	2,187,461	2.9%
都 市 計 画 費	4,032,334	5.3%
公 園 費	2,800,290	3.7%
住 宅 費	4,772,202	6.3%
土木施設災害復旧費	1,020,966	1.4%
公 営 企 業 出 資 金	336,004	0.4%
部 所 管 計	75,542,364	100.0%



2 部所管予算額の推移

1 部所管当初予算額の推移

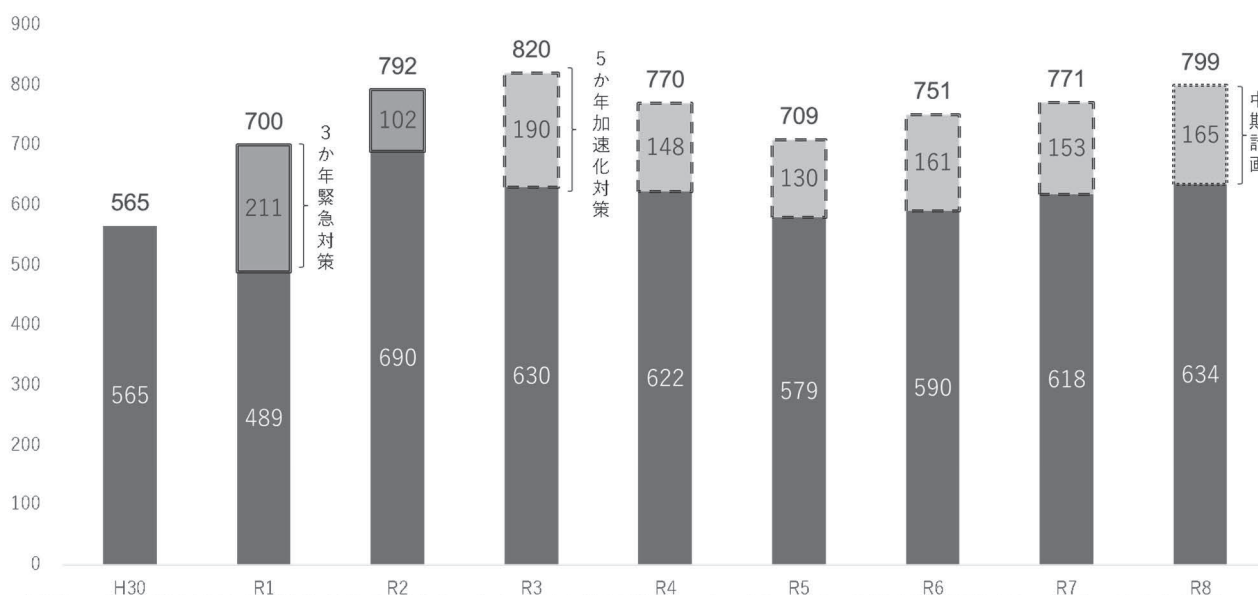
(単位：億円)



(補足) ・一般会計や公共用地特会 (R7まで)、港湾特会、公営4事業会計の当初予算額と経済対策補正予算額、6月補正(肉付)予算額を含めている

2 部所管公共事業費の推移

(単位：億円)



(補足) ・3か年緊急対策とは「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」のこと。令和元年度には、H30 2月補正分とR元当初分の2か年分を含む。
 5か年加速化対策とは、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」のこと。
 中期計画とは、「第1次国土強靱化実施中期計画」のこと。
 ・当初予算額と経済対策補正予算額、6月補正(肉付)予算額を含めている。

3 令和8年度予算（主要事項）

1 当初及び2月補正予算分

（単位：千円）

	事業名	予算額	説 明
1	公共事業費	36,959,653	京都府総合計画に定められている、『8つのビジョン』を支える人・物・情報・日々の生活の基盤づくり等を着実に推進する。 生活・交通基盤整備 28,831,653 安心・安全基盤整備 8,128,000
2	単独公共事業費	16,100,000	府民の暮らしの安心・安全を守るための防災基盤整備、橋りょう等社会インフラの計画的な予防補修、きめ細やかな小規模改良事業の実施に加え、河川における維持管理上重要な箇所の浚渫を推進する。 防災基盤整備 4,491,909 インフラ長寿命化対策 3,987,767 地域密着型基盤整備 7,620,324
3	府民協働型インフラ保全事業費 緊急浚渫推進事業費【一部再掲】	4,173,000	(1) インフラの長寿命化やきめ細やかな地域づくりに活かすため、劣化箇所の報告や、身近な安心・安全につながる提案を府民から募集し、府民協働によるインフラ保全を推進する。 【建設交通部所管分】 2,900,000 (2) 河川や砂防設備において、土砂堆積状況や人家への危険度に応じた対策の優先度の高い箇所を選定し、浚渫を実施する。 1,193,000
4	建設業人手不足対策支援事業費【一部新規】	300,000	人手不足や物価高騰等の様々な影響を受けている建設業者等が実施する人手不足対策に向けた取組等を支援する。
5	地籍調査事業費【一部新規】	313,000	土地の境界や面積、所有者など土地の基礎的情報(地籍)を明確にするため、市町村が実施する地籍調査を支援する。
6	地域交通総合対策費【一部新規】	2,272,596	住民の豊かな暮らしを支える「生活の足」として不可欠な地域交通の運行を維持・確保するため、利用促進とともに利便性向上や安全確保に係る取組を支援する。 (1) 鉄道輸送の安全・安定性確保のための取組への支援 地域公共交通再構築事業費 835,000 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費 233,000 北近畿タンゴ鉄道支援費 318,000 (2) 地域交通の維持・確保のための取組への支援 暮らしを支える交通ネットワーク支援事業費【一部新規】 400,000 公共ライドシェア利用支援事業費【新規】 20,000 地域公共交通利用促進事業費 70,000 生活交通ネットワーク構築支援費 390,119 地域公共交通計画推進支援事業費等 6,477

	事業名	予算額	説 明
7	防災・減災対策事業費【再掲】【一部新規】	26,020,050	令和6年能登半島地震をはじめ、近年、頻発化・激甚化する自然災害における教訓を踏まえ、今後、高い確率で発生が予想される南海トラフ地震等の大規模災害に備えた防災・減災対策を講じる。 【建設交通部所管分】 16,772,679 防災・減災基盤づくり 15,588,704 その他 1,183,975
8	全国都市緑化フェア開催事業費【新規】	45,000	「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」の開催を契機に、京都丹波の魅力発信や誘客促進による地域振興を図るとともに、中心的行事である全国都市緑化祭を開催する。 【建設交通部所管分】 全国都市緑化祭の開催 30,000
9	2027 年国際園芸博覧会出展事業費【新規】	26,600	令和9年3月から横浜市で開始される「2027 年国際園芸博覧会」において、京都府と京都市が協調して庭園を出展し、京都の歴史や伝統技術が織りなす風景と、みどり豊かで自然と調和した環境先進地・京都の姿を国内外へ発信する。
10	AI水道漏水調査事業費【新規】	116,459	水道DX技術の活用によりメンテナンス業務を効率化することで、持続的で安定的な水道水の供給を推進する。
11	市町村上下水道経営基盤強化事業費	48,500	将来にわたる安心・安全な上下水道サービスの供給体制を築くため、市町村上下水道事業の経営基盤強化に資する取組を支援する。
12	住宅・建築物耐震化総合支援事業費【一部新規】	188,634	建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく「京都府建築物耐震改修促進計画」により、府内の住宅・建築物の耐震化等を促進するため、支援事業を実施する市町村等を支援する。
13	子育て世帯向け府営住宅リノベーション事業費【再掲】	16,000	京都府子育て環境日本一推進戦略に基づき、子育てに喜びや楽しみを感じられる住まいを整備する。
14	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進費	1,292,943	京都府舞鶴港において、国際コンテナ航路拡充やそれに伴う舞鶴国際ふ頭の拡張、外航クルーズ船誘致等、ソフト・ハード一体となった事業を推進する。 【建設交通部所管分】 1,203,189 国際クルーズ誘致事業 3,189 ＜港湾事業特別会計＞ 京都舞鶴港物流基盤重点整備事業【再掲】 1,200,000

Ⅳ 予算

2 6月補正予算分

(単位：千円)

	事業名	予算額	説 明
1	公共事業費 単独公共事業費	10,036,000	人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを加速化するとともに大規模災害等に備えた防災基盤の強化と公共施設の適切な管理を推進する。 生活・交通基盤整備 9,394,000 安心・安全基盤整備 642,000
2	京都次世代モビリティ戦略(仮称)調査事業費	38,000	広域的な移動からラストワンマイルまで、府域における交通体系を幅広く対象とした「京都次世代モビリティ戦略(仮称)」の策定に向けた基礎調査を実施する。 幹線交通調査事業 21,000 地域交通調査事業 17,000
3	千年の都・鴨川に ぎわい創出事業費 【再掲】	20,000	鴨川の河川空間と、周辺のまちづくり空間の魅力向上を府市協力で図るため、園路整備等を実施する。 先斗町公園周辺エリア 五条大橋周辺エリア
4	京都舞鶴港クルーズ誘致・交流促進事業費	6,000	舞鶴市と協調し京都舞鶴港を核とした賑わいと交流の創出や観光消費の拡大を図るため、クルーズ船の誘致強化に向けて金沢港と連携した共同プロモーションを実施するとともに、大野辺緑地周辺の再整備に向けた基本構想を策定する。 【建設交通部所管分】 京都舞鶴港大野辺緑地等再整備検討事業 5,000

国土強靱化に資する基盤づくりの推進

これまで平成 30 年度から始まった3か年緊急対策や令和2年度からの5か年加速化対策予算を最大限活用し、地域の安心・安全を確保するとともに、社会経済活動を支える基盤づくりを着実に推進。

新名神関連道路の整備

代表例

地域の生活や企業活動を支え、新名神高速道路の整備効果を広める道路整備を推進。平常時の安全で快適な通行に加え、**災害時の安全・安心の確保**に大きく寄与。今後予定されている新名神高速道路の開通により、広域的な道路ネットワークとの接続により、**さらなる地域の産業や観光振興、防災性の向上に寄与**するものと期待。

宇治田原山手線

国道307号(市辺奈島)



宇治木屋線(犬打峠)

山城総合運動公園城陽線



鷺峰山トンネル

城陽橋

川を広げる河川整備(鴨川)

平成25年台風第18号により越水した京川橋下流において、川を広げる河川整備により、**治水安全度が向上**。



砂防施設の整備(目黒谷川)

土砂災害被害が懸念されていたため、砂防施設の整備により、人家77戸等の保全対象への**土砂災害被害の防止・軽減**。



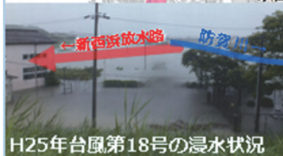
令和8年度からは、国の第1次国土強靱化実施中長期計画に基づき、引き続き、将来を見据えた基盤づくりを推進。

まちづくりと連携した河川整備(防賀川)

代表例

浸水被害が発生した防賀川では、流下能力拡大や逆流防止のための放水路や樋門の新設等を推進。

河川整備に合わせ、**区画整理事業による新市街地整備が進展しており、地方の成長にも大きく期待**。



H25年台風第18号の浸水状況

緊急輸送道路などの幹線道路整備

大規模な災害に備え、緊急輸送道路に位置付けられている国道423号など幹線道路の整備を推進。人員や物資の**円滑な輸送が可能となり災害時の安心・安全の確保に寄与**。



集中豪雨を取り込む下水道整備

地下に埋設した「いろは呑龍トンネルや調整池」に、雨水を取り込む接続施設の整備を進め、**浸水被害を軽減**。

